

# 平成24年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立和佐小学校
作成日	平成25年3月1日

## 1 教育目標

心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる。

## 2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切である。</li> <li>保護者や地域に対して積極的に情報発信をすることは大切なことである。</li> <li>地域の教育資源を活用し、教育活動を公開することは、開かれた学校づくり・信頼される学校づくりにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切である。</li> <li>やさしさを育み感性を豊かに育てる教育が、子どもたち一人一人の命や人権を大切にしていける教育の基礎だと思う。</li> <li>自分たちの地域を知り、関わっていくことが、郷土を愛し誇りに思う心を育てることにつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切である。</li> <li>基本的な生活習慣や学習習慣などの生活リズムを整えることは、確かな学力を身に付けさせるための大切な取り組みである。</li> <li>子どもの実態を的確に把握し、子どもたちが主体的に取り組む授業・分かる授業に取り組んでほしい。</li> </ul>

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりや学年だより・ホームページを通して、和佐の教育についての情報を発信するのは大変よい取り組みである。</li> <li>学校だよりは、これからも支所・郵便局・農協に置いてほしい。地域の方にも広く学校のことを知らせる機会となる。</li> <li>地域の方や各種団体との連携がとれていた。</li> <li>学校行事や不審者情報、警報時などの情報を迅速に手紙やメール連絡で頂けたことがよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめや体罰など心の荒廃や規範意識の低下が大きな問題となっている。社会生活の基本は挨拶である。お互い気持ちのよい挨拶を交わすことから心が通い合い、子どもたちの心身の状態も判断できると思う。児童会や職員が校門に立ち挨拶運動を行っているのはとてもよい。</li> <li>人権に関する学習や道徳の指導等、すべての教育活動で取り組む姿勢は素晴らしい。</li> <li>子どもたちが地域に出向いたり、地域の方や各方面の専門家を招いたり取り組みは「生きる力」を育てる上で大変意義がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>価値観が多様化し、複雑な家庭環境の中で育つ児童も多い。しかし、子どもたちが真の学力・生活力を身に付けることができるよう、大変だとは思いますがこれからも地道な取り組みをお願いします。</li> <li>教師の指導力向上が直接子どもたちの成長につながる。授業の工夫・改善に取り組んでほしい。</li> <li>学習タイムや和佐タイムなど、たとえ短い時間でも継続すれば大きな力となる。効果的な活動へと取り組んでくれていることを有り難く思う。</li> </ul>
-------------	--	---	---

検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だより・ホームページ・手紙・メール連絡などで、学校の情報を常に発信できていた。学校の取り組みが分かりやすかった。郵便局などに置いている学校だよりを楽しみにしている地域の方も多。</li> <li>地域の方や団体、福祉施設の皆さんと交流する機会をたくさんもてていた。</li> <li>教室や校内の掲示物が工夫されていて、見るのが楽しみである。行事の写真も多く、子ども達の様子がよくわかる。</li> <li>11月の「防災集会」「ありがとう集会」は地域の「文化祭」との合同で実施したので、学校と地域が一緒に作り上げた活動ということで大変よかった。今後も続けてほしい。</li> <li>登校指導をしていて遅刻をする子どもが多いのが気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>にこにこしていて、明るく、のびのびした元気な子どもが多い。自分から「おはようございます」とあいさつのできる子どもも増えてきたが、声をかけても何の反応も示さなかったり、登校時刻を過ぎても急ぐ様子のない子どものことが少し気になる。</li> <li>古い校舎ではあるが、修理・修繕をきちんと行っている。樹木も剪定され、いつも玄関前にはきれいな花が植えられている。子どもたちが落ち着いて学習できる環境づくりに努力している。</li> <li>放課後の子どもたちの遊びの中で、相手に発する言葉が気になる。教育活動全般を通して、子どもたちの心を耕し、思いやりを育む学習が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いた真面目に学習に取り組んでいるクラスが多い。しかし、やや覇気に欠ける面も見られるので、子どもたち一人一人が学ぶ楽しさや喜びを味わえるよう一層の工夫をお願いしたい。</li> <li>学習タイムや和佐タイムを充実したことで、学習内容の定着が進んでいる。</li> <li>全国学力学習状況調査の結果から、和佐の子どもたちは「読み取る力」が弱いということなので、家庭とも連携しながら「読書」に力を入れて取り組む必要がある。</li> </ul>
------------	--	--	---

改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、学校、家庭が一体となって和佐の子どもたちを育てていきたい。そのためにも、子どもたちの様子や学校の様子を「学校だより」やホームページ等を活用して、今まで通り情報を発信して欲しい。</li> <li>地域は子どもたちのためであれば、出来るだけの協力をしていきたい。</li> <li>これからも「開かれた学校」に向け、取り組みを続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人との出会いや体験がゆたかな心を育む。地域・学校・家庭の連携を充実させ、本年度取り組んだ福祉教育を来年も更に発展させてほしい。</li> <li>挨拶、掃除、当番活動など、あたり前のことに素直にそして真面目に取り組むことに力を入れ、そのことの大切さを学ばせてほしい。</li> <li>児童会が取り組んだ挨拶運動はとても良いことなので今後も続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や家庭との連携をこれからも続け、学力の向上につなげてほしい。</li> <li>ちょっとした時間も大切にして、一人一人に応じた取り組みをこれからも続けてもらいたい。</li> <li>「読む」「書く」「話す」「聞く」「計算する」等の学習活動は学力を身に付ける上での基本である。こういった基本の力をしっかり定着させてやってほしい。</li> </ul>
-------------	--	--	--

## 3 その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>全教職員で全児童を見守っていただくとする本校の姿勢は素晴らしい。</li> <li>コミュニケーション力の不足から、仲間や社会にとけ込みにくかったり、人間関係を築けなかったりする人が多いと聞く。小さな頃から、集団生活での指導や重要性を感じる。</li> <li>交通事故、本校は特に水の事故が心配である。集会や保護者への啓発などこれからもよろしくお願いします。</li> <li>子どもたちには「挨拶」はかなり浸透しているが、保護者の中には挨拶をしない人も多い。まず、大人が手本を示さねば…。</li> </ul>
--